

NO! リニア

No. 4 2

2011年 4月15日

JR東海労働組合
リニア反対プロジェクト

東日本大震災のJR東海の経営に対する影響は一時的なもの!? リニアの耐震補強「追加投資はしない」!

交通政策審議会・中央新幹線小委員会でJR東海が説明!

4月14日、国土交通省交通政策審議会・中央新幹線小委員会は、18回目の会議を開催しました。今回は「東日本大震災を踏まえた中央新幹線に関する審議」と、「最終答申（案）に関する審議」が行われました。

新聞報道によるとJR東海は「リニア新幹線は東日本大震災で土木構造物に大きな被害が見られなかった東北新幹線と同じ耐震基準で建設するため、震災を受けての追加投資は必要ない」とし、さらには「震災後の乗客減少などによる経営への影響は一時的で自己資金によるリニア建設に支障はない」と説明したと報じています。

東日本大震災で「大きな被害が見られなかった」というだけで、新たな安全対策を放棄しても良いのでしょうか？配付資料によれば、地震に対するリニア特有の対応として「ガイドウェイ側壁で物理的に脱線防止」と説明していますが、大地震の際にガイドウェイが崩壊しない保証はないのです。JR東海は自然災害に対して謙虚な姿勢で臨み、さらなる安全対策を検討すべきです。

いま、大震災を受けて日本経済は大きく落ち込むことが懸念されています。電力不足の問題も解決していません。福島第一原発事故の収束も先が読めない状況です。このような状況下で「自己資金によるリニア建設に支障はない」というJR東海、そして「最終答申（案）」を提出する小委員会の社会的責任は大きなものとなります。小委員会は現在の状況を見た上で「最終答申（案）」を白紙に戻し、リニア建設を中止するべきです。

経済低迷・電力不足・原発事故!この状況下で建設できるのか!
災害を謙虚に受けとめないJR東海では安全は守れない!

耐震の追加投資
リニア必要なし

JR東海説明

JR東海は十四日、リニア中央新幹線計画に関する国土交通省の交通政策審議会小委員会で、リニア新幹線は東日本大震災で土木構造物に大きな被害が見られなかった東北新幹線と同じ耐震基準で建設するため、震災を受けての追加投資は必要ないと説明した。

また、震災後の乗客減少などによる経営への影響は一時的でリニア建設に支障はないと指摘。一（東海道新幹線が地震で不通になるなどの）リスク回避のためにもバイパスの必要性は高まった。早く着工すれば早く完成するので、準備を急がたい」とした。

4月15日東京新聞